

飯塚の産学官による 飯塚市ブロックチェーン推進宣言

～世界のブロックチェーンをリードする都市・飯塚へ～

福岡県の中心に位置する飯塚市は、かつてエネルギーの主役であった石炭の採掘のまちとして、日本の成長を支えてまいりました。

炭鉱閉山後は、産業構造の変革に着手し、情報産業都市を目指して、大学・企業と連携した新産業創出に取り組んでまいりました。大学が輩出する人材が起点となり、飯塚市には IT 関連のベンチャー企業やイノベーション拠点が集積し、良質なコミュニティを形成しています。

近年は、この基盤をもとに、ブロックチェーンストリート構想を皮切りに、民間企業が主導となってブロックチェーンの取り組みが盛んになってきています。

このような流れを受け、飯塚市では福岡県と連携して、ブロックチェーン産業の振興を進めております。IT 企業に対する新製品の開発や実証の支援、大学と連携したブロックチェーン技術者の育成などに取り組み、新たな成長の芽と期待されるブロックチェーン分野への企業の参入と企業進出を促進しているところです。

一方で、日本国内においては、新型コロナウイルス感染拡大による社会変化を受け、テレワークなど拠点分散のニーズが高まっており、相対的に郊外都市のポテンシャルが上昇していると言われます。飯塚市は、福岡・九州・全国の「集中から分散へ」の流れを受け止めることができます。

また、福岡においては、昨年、Team Fukuoka による国際金融機能誘致の方向性において、重点的に誘致する業種・業態として「Fin Tech」が盛り込まれました。飯塚市のブロックチェーン集積はその誘致の核となりえます。さらに、福岡のスタートアップエコシステム拠点形成においても、飯塚市は連携都市として位置づけられています。このように、飯塚は福岡の国際競争力を高めるキープレイヤーとして、オール福岡から期待されているところです。

このような全国・福岡の動きを好機と捉え、これまでの飯塚におけるブロックチェーン取り組みを活かしながら、さらに広げていくため、本日ここに、飯塚市の産学官が連携してブロックチェーンを強力に推進していくことを宣言します。

この宣言が目指すものは、飯塚の経済発展に留まるものではありません。かつて日本を支えた石炭のまちが、半世紀をこえて、日本を支えるブロックチェーンのまちとして進化することを、飯塚から世界へ発信し、福岡、九州、ひいては日本の発展に貢献することを目指すものです。

令和 3 年 11 月 15 日

飯 塚 市 長	片 峯 誠
飯塚商工会議所会頭	麻 生 泰
九州工業大学情報工学部学部長	安 永 卓 生
近畿大学産業理工学部学部長	江 上 典 文